

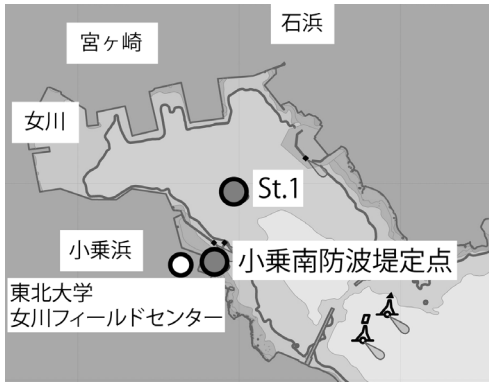
週刊 女川湾海況速報 (No.59)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

9 月 9 日から 13 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温はやや下降。塩分については表層（0m）で下降したが、底層（6m）では上昇傾向。経時的に表層の水温は 11 日まで上昇したが、底層では下降し、11 日にはそれぞれ 23.8℃と 22.7℃を示した。塩分については表層で 12 日を除いた期間に 32 以下を示したが、底層では期間を通じて 33 台を維持。表層の低い塩分は降水の影響と推定。

水深 [m]	9月9日 (月)	9月10日 (火)	9月11日 (水)	9月12日 (木)	9月13日 (金)
0	23.5 (31.6)	23.6 (30.7)	23.8 (30.8)	23.7 (32.3)	23.6 (30.7)
6	23.2 (33.2)	23.1 (33.2)	22.7 (33.4)	22.9 (33.4)	22.9 (33.2)

水温の単位は℃。\*9 日と 10 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には表層で 9 日と 13 日に比較的高い値を示した。底層では 11 日以降に特に高く、13 日には 2.2FTU を示した。(単位は FTU)

水深 [m]	9月9日 (月)	9月10日 (火)	9月11日 (水)	9月12日 (木)	9月13日 (金)
0	0.9	0.7	0.7	0.7	0.9
6	1.2	1.0	1.8	1.7	2.2

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降傾向にあったが、期間を通じて 6~7mg/l 台を維持。経時的には表層で 12 日に一旦下降し、6.8mg/l を示した。底層では 10 日以降に低い値 (6mg/l 台) を示し、11 日には期間を通じての最小値 (6mg/l) を示した。

水深 [m]	9月9日 (月)	9月10日 (火)	9月11日 (水)	9月12日 (木)	9月13日 (金)
0	7.2	7.4	7.5	6.8	7.3
6	7.0	6.7	6.0	6.4	6.8

単位は mg/l。水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 22.1~23.7℃、32.5~33.5 の範囲にあった。濁度は 2.2~42.5FTU の範囲にあり、表層で最大。濁度は全層で高く、特に表層では本速報が始まって以来の最高を示した。溶存酸素は 7.0~9.5mg/l の範囲にあり、表層で最小。

9 月 12 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	23.7	32.5	42.5	7.0
5	22.8	33.2	7.6	8.2
10	22.5	33.5	2.4	8.8
15	22.3	33.5	2.3	9.5
19	22.1	33.5	2.2	9.5

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。